



19東産業第 34 号
平成19年 5月11日

国土交通省道路局長 宮田 年耕 様

東洋町長 澤山 保太郎



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった標記の件
については、別添のとおり回答します。

中長期計画の作成に当たっての意見

1. 本四架橋・四国四県都を結ぶハイウェイの効果을最大限活用するためには、四国内の高速自動車道路線網を拡張した8の字ネットワークの形成。また、これに連携し、四国東南地域の交通の大動脈となる地域高規格道路阿南安芸自動車道の早期整備が必要である。
2. 本町の沿岸部を走る国道55号線は、台風・豪雨による度重なる通行規制及び災害発生時には数日間通行止めとなり、本町は陸の孤島と化す。国道55号線は、本町と県都を結ぶ大動脈であり、生命線である。このため災害に強い国道整備が必要である。
3. 本町には、国道55号線相間地区の短区間に急カーブが連続しており、この区間が交通事故多発区間でもある。また、野根大橋は、歩道が無いため野根漁港方面へ移動する手段が車以外である高齢者、子供等の交通弱者には非常に危険な箇所となっている。このため相間地区の急カーブ解消及び野根地区の歩道整備は、交通安全の観点から必要である。
4. 国道493号線は、急カーブや道路幅が狭い箇所が多く、過去にも落石による事故が発生している。異常気象時の規制区間となっているため、地域住民の生活に支障を来しており、道路幅の拡張整備が必要である。
5. その他(国道55号線)
 - ① 四国名物にもなっているお遍路さんのためにも優しく、安心して歩くことができる歩道の整備、休憩所(トイレ)の設置(室戸～東洋)
 - ② 室戸阿南海岸国定公園の豊かな自然環境を生かした観光交流人口を増加するための道の駅の設置(室戸～東洋)
 - ③ 追い越し車線の設置(安芸～東洋)
 - ④ 県道202号線は、室戸岬経由の国道55号線よりも交通量が多いが、道路幅が狭く、三津坂トンネルでは大型車往来が不可能である。このため、国道昇格による道路整備

平成19年5月11日

東洋町長 澤山 保太郎